まちのトピックス TOPICS

～下田のデキゴト～



10/3 秋空高く、若人たちの熱き戦い！

澄み切った秋空のもと、下田中学校運動会が開催されました。１つ１つの競技に大きな声援が送られていました。終了後の解団式では、各チームのリーダーが熱い思いを伝え、生徒たちの成長を１つ感じることができました。



10/8 今年も美味しいお米をありがとう！

市内の耕作放棄地や休耕田を使い米作りに取り組まれている米フレンド下田（会長　小澤　博）様より、下田認定こども園へ新米40kgを提供いただきました。収穫米の寄贈は、今年で11回目となります。



10/13 「開国の歴史」学習の成果発表！

伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校中学部が、修学旅行に向けて取り組んでいる「下田と横浜の歴史」や日米友好の象徴である「シドモア桜」に関する調べ学習の成果発表を行いました。



10/13 今年も寄附をいただきました！

明治安田生命保険相互会社様より、「私の地元応援募金」として861,800円の寄附金をいただきました。

地域の暮らし、健康を豊かにするための様々な取り組みを行う「地元の元気プロジェクト」の一環で、今回の寄附で８回目（総額462万2,800円）となります。



10/16 ～ 21 米国ニューポート市を訪問

下田市と姉妹都市提携を結ぶアメリカ合衆国ロードアイランド州ニューポート市へ下田市訪問団を派遣しました。中村議長を団長に、中学生４名の訪問団は、ニューポート市役所への表敬訪問やハリス墓参などの公式行事に参加しました。



10/16 まちの魅力を再発見しよう！

中央公民館で下田・本郷地域の景観ガイドラインを策定するためのワークショップを開催しました。

約20名が参加し、『まちの「いいね！」と「惜しい！」を再発見しよう』というテーマのもと、これから下田・本郷地域が目指すまちの方向性を話し合いました。

10月のできごと

1日～31日	第５回しもだ健康川柳　募集	9日	下田市災害対策本部図上訓練
3日	暴力追放・薬物銃器根絶住民大会	15日	ニューポート市訪問団出発式
5日～	市政懇談会（市内６地区）	22日	シニア向けスマートフォン講座
5～8日	特定計量器定期検査	23日	新体力テスト

※掲載情報は、10月30日時点

地域子育て支援センター通信



12月の予定

２日（水）　いちごるーむ　９時～11時20分
５日（土）　開館日
７日（月）　体育館で遊ぼう　９時30分～11時
11日（金）　クリスマス会
16日（水）　めろんるーむ　９時～11時20分
18日（金）　誕生会　10時30分
19日（土）　開館日
21日（月）　発育測定・育児相談　9時～11時
　　保健師・栄養士来所
28日（月）　閉館（施設点検清掃、事務整理日）

※12月29日～令和９年１月３日　年末年始休館
※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。

問合せ先：地域子育て支援センター　☎㉗２２００

秋から冬へとバトンタッチするこの時季、一日の気温差も大きくなります。体調を崩すことも増えてきます。手洗い・うがい・衣服の調節などに気を付けて健康に留意したいですね。日中の暖かい日は戸外に出てみたり、お散歩をしたりして、色づき始めた葉っぱや木の実を見つけて秋の自然を楽しむのもいいですね。支援センターでは、年齢別ルームも行い、小さいお友達も増えましたよ。ぜひ遊びに来てください。



誕　生　会



防　災　講　話



年齢別ルーム



知　育　ヨ　ガ®

こんにちは、市長です

「文化の日」に



AI。産業や教育など様々な分野で今、生成AIに課題解決を期待する声があがっている、が同時にその危険性への警鐘も小さくない。実際、毎日情報関連の事件が起こっていて実にかまびすしい。

一方、「文化」について語られることがずいぶん少なくなっているように感じているのは私だけだろうか。「文化は金にならない」、「文化じゃ食えない」と昔から言われ続けているのも事実だ。

しかし、日本が敗戦したとき、焼土の上で、東京帝国大学総長の南原繁は、政治や経済と同様に、いやむしろそれ以上に文化の価値を強く説いた。日本が再出発するためには、まず私たち日本人が自ら文化を創造すべきであると。

前回（9月号）で、グローカルシティについて述べたとおり、私たちの行動や言説の基盤になっているのは文化であって、それは空気のように目には見えなくても常に身にまとっている。

地方創生や経済にAI等のテクノロジーを活用して効率化を図ることも大事だが、下田市固有の文化に光をあて、人と人の顔の見える関係性＝地域コミュニティを生かし皆なで力を合わせて、心豊かなまちづくりを目指す方がもっと大切ではないかと私は思う。

古い中学校の校舎や体育館をなるたけ生かそうと工夫した河内の新庁舎に今全国から注目が集まっているのは、そうした価値観が再評価されるようになったからだと教えてくれた有識者もいた。

より新しいものを求めるあまり、先端科学技術の海で溺れてしまいそうな今日的なリスクの中で、私たちは足下にある自らの文化にしっかりと目を向けていきたいと思う。

11月3日は文化の日。終戦の翌年の新憲法公布を記念して制定されたこの日、改めて文化について考えてみました。皆さんもこの機会に考えてみてはいかがでしょうか。